

これからの地域づくり

令和元年11月28日（木）

西条市 市民生活部 市民協働推進課



西条市

そもそも、地域づくりとは？

- 地域の暮らしを良くする
- 地域の暮らしを支える
- 地域の困りごとを解決する
- 地域の大切なものを守る

なぜ今、 地域づくりなのか

2

地域づくりの必要性

□多様化・複雑化する地域の課題

- 隣近所を見渡してみても、地域の暮らしに難しい課題が増えてきた。
- 地域を維持していくことが難しくなっている。

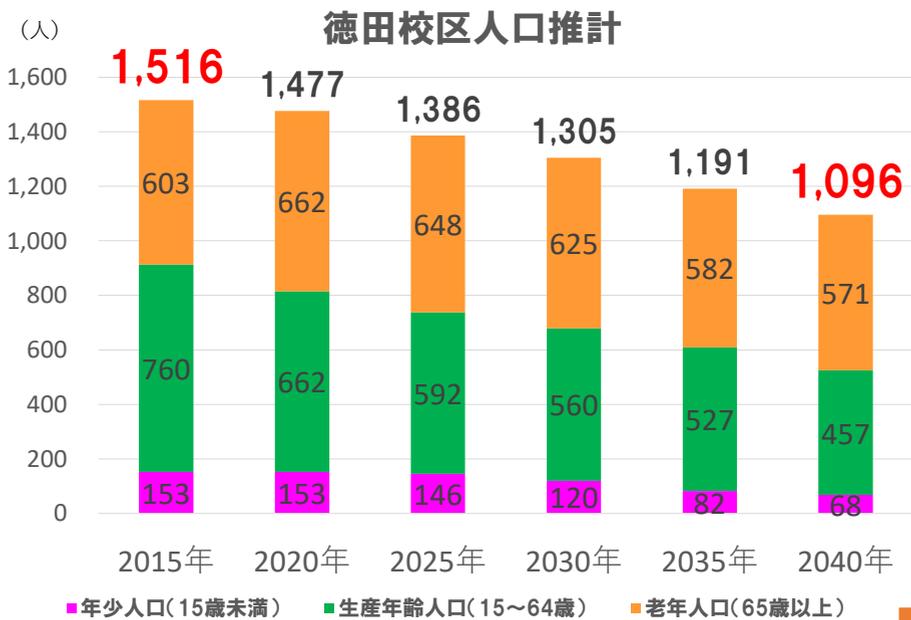
3

背景

高齢化・人口急減

4

2040年には人口が3割弱（420人）減少



5

多様化・複雑化する地域課題

社会環境等の変化

人口急減・少子高齢化

価値観・ライフスタイルの多様化

家族形態の個人化・多様化

人間関係の希薄化

つながり・地域力の低下

あなたの地域でこんなこと
ありませんか

子どもや若者が減って、行事が寂しくなってきたね…

近くのお店が無くなって、買い物不便になったわ

災害のとき、地域でちゃんと助け合える？

隣のおうち、お年寄りがお年寄りを介護してる…

人がいないからって、いくつも役職を兼任！しんどいよ

一人暮らし世帯が増えた。隣の人、顔見る機会減ったけど大丈夫？

近所に空き家が増えて倒壊や景観の悪化、放火など防犯面も心配…



地域のチカラが求められる

6

地域力がなければ
解決できない

地域づくりの必要性

7

地域の力がなければ解決できない。

地域づくりは必要。

一方で・・・

①人口減少・少子高齢化

②地域課題は多様化・複雑化

やらなければいけないことは・・・

増える！

これまで、当たり前できていたことが・・・

難しくなる！

8

これまで、当たり前できていたことが、
できなくなっていく状況の中で、

これまで通りのやり方を続けていくことは
難しく（できなく）なっている。

地域にとって、

- ・ 本当に必要なこと
- ・ 大切にしたいこと
- ・ ずっと残していきたいもの

何をやめて、何に力を入れていくか

9

人口減少時代の地域づくりの考え方

これまで

役の担い手を探す

これから



役の数を減らす（役を整理する）

➤今まで通りのやり方をしているだけでは
暮らしを維持していくことはできない

10

これからの地域づくりの
キーワードは・・・

「参加」 「話し合い」

「連携」 「課題解決」

11

【地域づくりの第一歩】

- **本当に必要なこと**
- **大切にしたいこと**
- **残していきたいものは何か**
をみんなで話し合っていく

12

田滝地区の取組状況

13

田滝校区での地域づくりのきっかけ

平成30年7月開催

地域づくり講演会(市主催)

「明日の田滝を考える会シンポジウム」メンバー
5名が参加

⇒ 田滝地区の現状に対する問題意識
『本当に大切なものはなにか』
もう一度多くの人を巻き込んで話し合いたい

14

田滝地区地域づくりのスタート

平成30年8月～

まずは少人数のメンバーで

地域づくり意見交換会

- ・地域で考えるきっかけをどう作るか。
- ・今後どのように進めていくか。



15

平成30年11月1日開催

地域づくり講演会

参加者
約100名

テーマ『実践に学ぶ！
これからの地域づくりへのヒント』



16

平成31年1月26日開催

地域づくり座談会

参加者
約40名

テーマ『田滝のよいところ
気になるところを話し合おう』



17

地域づくり組織（企画部隊）の設置

令和元年6月

メンバー
12名

明日の田滝を考える会

を発足

役割

-  地域づくり計画（地域未来ビジョン）に関すること
-  コミュニティの現状及び課題に関すること
-  課題解決に向けた方策に関すること

18

明日の田滝を考える会の活動紹介

配布しているまちづくり通信
をご覧ください。

活動のポイントは

- ・本当に必要なこと
- ・大切にしたいこと
- ・ずっと残していきたいもの 何か
みんなで丁寧に話し合っていく

19

本日のタウンミーティング

自己紹介

- ①所属する団体
- ②名前
- ③徳田地区・各自治会の好きなおとこ、
これからも大切にしたい、
守っていききたいもの は何ですか？

20

話し合いのテーマ

これからも暮らしやすい徳田地区に向けて
どのように取り組んでいったらいいと思
いますか？

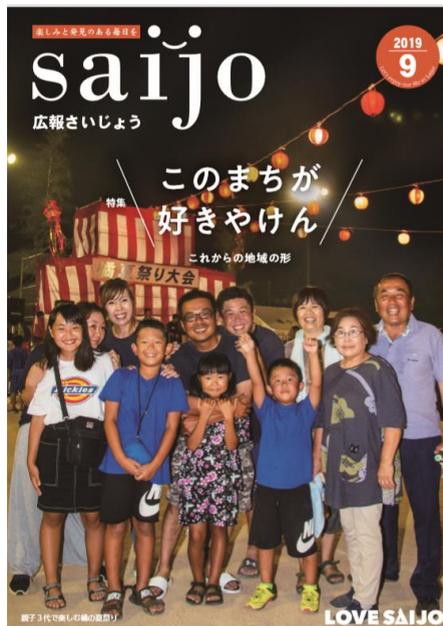
- ・こうしたらどうか
- ・これが足りない
- ・これから地域で必要なこと（視点）

21

各地区で進む それぞれの地域づくり

22

広報さいじょう（令和元年9月号）



23

あなたの地域でこんなこと ありませんか

子どもや若者が減って、行事が寂しくなってきたわー

人がいなくなって、いくつもの役割を兼担しなきゃ

近くの施設が閉くなって、買い物も不便になったわー

一人暮らし世帯が増え、しんどい人、高齢者も減ったけど大丈夫？

隣の町より、お年寄りが多いお年寄りな介護してるー

近所に空き家が増えて、無職や無職の増加、震災は防災意識も心配ー

このまぢが 好きやけん

「昔は良かった」と、あなたも聞いたことあるかもしれません。人口減少が進行し、暮らしを始めるお年寄りは増加、担い手不足による地域の負担増加、伝統文化の継承、行事の廃止など、たくさん課題が重なってきています。その中で、未来に向けた地域の形づくりに挑戦している地域があります。

みんなで進める「まちづくり」、みんなが支えあっていく、より良いまちづくりを、住民主体のまちづくりを、進めたいと思いませんか？

みんなで描いた橋の未来

自分らのまちのことは、自分らでなんとかしよや

橋づくりから生まれた

橋のまちづくりの始まりは昨年10月、市民会館で開かれた「まちづくりワークショップ」といって、みんなが参加して、自分らのまちをどうしたいか、どうしたいか、という思いが伝わったこと。このワークショップは、市民会館で開かれた。市民会館には、市民会館の職員が来てくれて、みんなが参加して、自分らのまちをどうしたいか、どうしたいか、という思いが伝わったこと。このワークショップは、市民会館で開かれた。市民会館には、市民会館の職員が来てくれて、みんなが参加して、自分らのまちをどうしたいか、どうしたいか、という思いが伝わったこと。

「まちづくりワークショップ」の開催は、市民会館で開かれた。市民会館には、市民会館の職員が来てくれて、みんなが参加して、自分らのまちをどうしたいか、どうしたいか、という思いが伝わったこと。

「昔は良かった」と、あなたも聞いたことあるかもしれません。人口減少が進行し、暮らしを始めるお年寄りは増加、担い手不足による地域の負担増加、伝統文化の継承、行事の廃止など、たくさん課題が重なってきています。その中で、未来に向けた地域の形づくりに挑戦している地域があります。

みんなで進める「まちづくり」、みんなが支えあっていく、より良いまちづくりを、住民主体のまちづくりを、進めたいと思いませんか？

これからの橋を担う若手人財の発掘・育成

私たちが、チーム橋！

副会長 難波江 亮さん

地元の人はもちろん、ほかから来た人も住んで良かったなあと思えるようなところにしていきたいね。地域のつながりが強いと、入ってしまえば楽しいんやけど、新しい人はなかなか入っていきんよ。それを解消して、ずっと住んでもらえる場所にしたわい。

事務局員 八坂亜季さん

災害が起きたときにも声を掛け合えるようなまち、住みやすい橋にしていきたいです。子どもがいる環境で、名前を出したらみんなが「ああ〜」みたいに分かってくれる。それがすごく良いところだと思ってるから、その環境を残していきたいですね。

藤井尚浩さん

僕は子どもが女の子4人おるけど、1人でさえから地元に残ってくれるようなまちづくりをしていきたいね。よそからお嬢さん来てもらうにしても、地域の課題が多いとそれも難しいでしょ。いろんな障壁が少ないまちにしていきたいわい。

十亀匡史さん

地域の負担の削減をメインでやっていきたいです。地域づくりってイベントとかに寄りがちやけど、それだと負担が増えるだけ。良いものは残して、無駄なものは無くしていく、その初心を大事に、みんなが楽しめるようにしていきたいです。



藤原佳枝さん

若い子が住んでみよか、帰ってみよかと、いうまちに



川上沙斗美さん

幅広い人の交流が、簡単にできる地域に



工藤浩樹さん

子どもがいっぱいあって、みんな楽しんでいる場所



金子芳久さん

バラバラの年代が一緒に生活できるように



川村美子さん
(橋未来づくり協議会)

地域の人みんなが一つの家族になるような橋に



橋井美菜さん

地域が子どもを育てる、その環境を守っていききたい

私たちが、チーム橋！

関わるみんながチームの一員！
皆さんの目指すまちに向け、
私たちもお手伝いします！



橋公民館、市民活動支援センター、社会福祉協議会、西条市役所
市民協働推進課・包括支援課の皆さん